

令和5年度住之江区運営方針の進捗状況と 今後の方向性について 【備える部会】

経営課題3 【安全・安心なまちづくり】

めざす成果及び戦略

- | | | | |
|-----|----------------------|-------|---|
| 3-1 | 【災害に負けないまちづくり】 | | 3 |
| 3-2 | 【犯罪のない安心して暮らせる環境の実現】 | | 8 |



経営課題3 安全・安心なまちづくり「防災力の高いまち」「犯罪のないまち」

3-1 災害に負けないまちづくり

将来像

自助・近助・共助・公助による防災力の高いまち

課題

自助・近助に対する意識の向上 防災力の向上 減災のための環境整備

P3



▲ この将来像に向けて2つの取組を進めています

【具体的取組3-1-1】 自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

取組

地域の人材育成、地域の防災訓練、マイタイムライン・避難カードを活用した自助・近助の啓発、分散避難の啓発
 <課題> 浸水想定認知など、防災意識の向上に向けた啓発について、効果的な方法を検討する必要がある。
 <方向性> 引き続き、出前講座や訓練説明会等の機会を捉えて周知を行う。

P4

【具体的取組3-1-2】 減災のための環境整備

取組

防災パートナーへの登録勧奨、津波避難ビルや災害時避難場所の表示版等の整備
 <課題> 災害に備え、津波避難ビルや防災パートナーを拡充し、避難場所等を充実させる必要がある。
 <方向性> 防災パートナーの意見交換会や企業・NPO・学校・地域交流会の場を活用するなど、協力いただける企業等の拡大に努める。

P7

3-2 犯罪のない安心して暮らせる環境の整備

将来像

区民の日常生活での安全を確保できている状態

課題

防犯意識の向上 街頭犯罪防止のための環境整備

P8

▲ この将来像に向けて2つの取組を進めています

【具体的取組3-2-1】 防犯意識の向上に向けた啓発

取組

特殊詐欺被害防止キャンペーン、防犯出前講座の実施
 <課題> 防犯意識の向上に向けた啓発について、効果的な方法を検討する必要がある。
 <方向性> 様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。

P9



【具体的取組3-2-2】 街頭犯罪抑止のための環境整備

取組

防犯パトロールの効果的なコース設定、ひったくり防止カバー取付キャンペーン、防犯カメラの適性な運用の実施
 <課題> 犯罪抑止のためのより効果的な取組が必要である。 <方向性> 様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。

P10

令和5年度 住之江区運営方針

区の目標(何をめざすのか)

- 子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域など、周りの人々と幸せに暮らすことのできるまちをめざす。
- 住之江区の名前の由来のとおり、住みよい区、すなわち“e-SUMINOe”を「めざす将来像」とする。

区の使命(どのような役割を担うのか)

- 地域と共に進めるまちづくり
 - ・区民意見の反映 ・地域活動協議会、NPO、企業等の交流促進 ・若い世代との協働
- ICTを活用した情報発信の充実
 - ・分かりやすい広報 ・多様な手法を活用した情報発信

令和5年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- より安心して子育てができ、未来を担う子どもたちが夢と希望を持って学ぶことができる環境づくり
- すべての人々が住之江区に愛着をもち、自分らしく暮らせるまちづくり
- 自助、近助、共助、公助による備えのできた防災力の高い、安心して暮らせるまちづくり

経営課題3 安全・安心なまちづくり

【主なSDGsゴール】



めざすべき将来像(最終的なめざす状態)〈概ね10～20年間を念頭に設定〉

大規模地震や津波、水害等の自然災害に対し、自助・近助・共助・公助による備えのできた防災力の高いまちを目指す。
また、ひったくりや路上強盗、特殊詐欺等、犯罪のない安心して暮らせるまちをめざす。

課

題

【災害に負けないまちづくりに向けて】

- 阪神・淡路大震災において自力脱出困難者の大多数は家族・近隣住民に救出された経験を踏まえ、「自助」「近助」に対する一層の意識の向上が必要である。
- 避難カードやeラーニングなど、効果的な手法を積極的に活用しながら、自助・近助・共助による防災力の向上と多数の人材育成により一層取り組む必要がある。
- 避難所の拡充と避難所での物資の充実、災害に関する情報や避難所の所在を分かりやすく示す表示板整備など、減災のための環境を一層整備する必要がある。

【犯罪の少ない安心して暮らせる環境の実現に向けて】

- 各種キャンペーンや出前講座などを通じ、特殊詐欺などの巧妙化する犯罪手口に関する情報の普及や注意喚起など、防犯意識向上に向けた意識啓発を、より一層進める必要がある。
- 青色防犯パトロールカーの巡回やキャンペーン活動、防犯カメラの適切な維持など、街頭犯罪防止のための環境整備に引き続き取り組む必要がある。

【めざす成果及び戦略3－1】

災害に負けないまちづくり

経営課題3 安全・安心なまちづくり

めざす状態

【令和3～7年度の5年間】

各家庭での災害への備えに対する「自助」、自主防災組織より身近で隣近所で助け合う「近助」、地域で助け合い被害拡大を防ぐ「共助」、区民の防災意識向上の啓発を行う「公助」で、総合的に災害に備えることができている状態。

計
画

戦略(中期的な取組の方向性)

指標

- 災害への知識を深め、十分に備えることで一人ひとりが災害に対して当然のように対応できる、自助・近助・共助による防災力を高める。
- また、災害時に身の安全が確保できる避難所の拡充をはかるとともに、一人ひとりが避難行動を円滑に行えるよう、わかりやすく災害情報を得られるまちづくりを進める。

令和7年度末までに、区民アンケートで「お住いの地域や家庭で災害に対する備えができている」と回答する割合 60%以上

【めざす成果及び戦略3-1-1】

自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

経営課題3 安全・安心なまちづくり

計画	取組内容	指標
	●防災意識の向上に向け、町会や自主防災組織をはじめ、学校や民間企業等の幅広いコミュニティ層に対して、研修や出前講座などの機会を捉え、ICTを活用した防災人材育成プログラムを提供する。 ●地域防災力向上に向け、防災アドバイザーを活用した地域防災訓練等の支援、地域防災計画の作成支援を行う。 ●ハザードマップや避難カードの活用方法について啓発し、自らが作成した後、近所や地域の方へ避難カードやマイタイムラインの作成を促せるような「近助」の防災力が向上する取組を行う。 ●コロナ禍においては避難所の受け入れ人数の大幅な減少が見込まれるため、避難カードの活用方法等の啓発に合わせ、「分散避難」の啓発を行う。	●区民アンケートで「自宅の浸水想定を知っている」と回答する割合60%以上
方向性の確認	取組実績等 ―9月末時点―	
	●地域防災訓練 5地域(5回) ●防災人材育成 2中学校、3小学校、2保育園(幼稚園) ●防災出前講座 5回、防災リーダー研修 2回 ●広報紙 特集2回、区防災マップを全戸配布	
	課題 ●浸水想定認知など、防災意識の向上に向けた啓発について、効果的な方法を検討する必要がある。	方向性 ●引き続き、出前講座や訓練説明会等の機会を捉えて周知を行う。 ●令和6年度継続実施

進捗状況：予定通り

クローズアップ ―取組の解説―

■中学校での「SUMINOEそなエンジェル」の育成

中学生やその保護者世代の方々が防災への備えと知識を持ち、ご近所とつながり、災害時に行動できる人材を「SUMINOEそなエンジェル」として育成・支援(中学校と地域の連携した防災まち歩きや避難所開設訓練の実施)します。



委員からのご意見

分類

対応方針

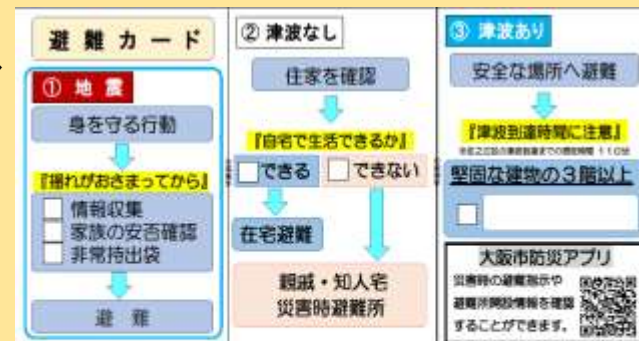
【全体会】

●「たすカード」に大阪市防災アプリの二次元コードを掲載するのは良いと思うが、大規模災害時は通信障害の心配もある。災害時に情報を取得する方法について検討してほしい。

②

携帯しやすいサイズにした「たすカード」は、持ち歩くことで、ネット環境がなくても、身を守る行動などが確認できるカードになっています。サイズは大きくなりますが、地震以外の情報を掲載している避難カードもございます。

また、大阪市防災アプリは、平时にダウンロードをしておけば、オフラインの状態でも情報を確認することができます。災害時に情報を取得する方法について、継続して啓発してまいります。



【全体会】

●仕事の関係で、防災士の試験を受ける機会があった。講義等の費用として数万円が必要であり、防災に詳しい人材を増やすために、公的な補助などを検討してほしい。

①

大阪公立大学と大阪市等との連携協力の中で、大阪公立大学が防災士養成講座を実施しており、少し低価格で受講ができます。地域活動協議会会長会でお知らせしており、今後も機会を捉えて周知してまいります。

※分類

①既実施

④今後引き続き検討

②当該年度において対応予定

⑤対応困難または対応不可

③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定

⑥その他

委員からのご意見

分類

対応方針

【部会】

●カードの周知は、広報紙やSNS等を使って行うのがよい。
カードの配布については、ポスティングによる全戸配布など、ただ配るだけでは利用してもらえない。地域の防災訓練や会議などの機会に、カードの使い方を説明しながら配るのがよいと思う。
区役所に配架し、使いたい方が自由に取れるようにするとよい。
配って終わりではなく、防災について考えるきっかけとして、継続的に周知することが大切である。

②

カードの周知・配布については、広報紙やSNS等で周知を行うほか、地域の防災訓練や会議などの機会にカードの使い方を説明しながら配布を行うなど、効果的な方法を検討し、継続的に行ってまいります。

【部会】

●ペットと避難しトラブルになった例もある。ペットとの避難をイメージし、事前に避難方法や避難場所を考えておくことが重要である。同行避難やマナー順守については、ペットを飼っている人だけではなく、ペットを飼っていない人にも周知する必要がある。

②

防災パートナーと連携するなどして、ペットとの同行避難やマナーについて区民の皆様の理解が深まる効果的な取組を検討し、進めてまいります。

※分類

①既実施

④今後引き続き検討

②当該年度において対応予定

⑤対応困難または対応不可

③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定

⑥その他

【めざす成果及び戦略3-1-2】

減災のための環境整備

経営課題3 安全・安心なまちづくり

計画	取組内容	指標
	●津波避難ビル等の避難場所や備蓄物資の充実を図るとともに、すみのえ情報局などを活用し、地域貢献を行う意思を有する企業・事業所、NPO・ボランティア団体等に災害対策に必要な協力を行っていただく「防災パートナー」の増加に向けて啓発し、依頼を行う。 ●津波避難ビルの表示板未設置箇所への増設及び災害時避難所の表示板及び誘導表示板の変更を行う。 ●個別避難計画作成支援や中学校防災授業など、地域と連携した持続可能な仕組みづくりを行う。	●防災パートナーの新規登録件数2件以上

方向性の確認

取組実績等

—9月末時点—

●防災パートナー新規登録件数 1件

●津波避難ビル新規協定件数 3件

進捗状況：予定通り

課題	方向性
●災害に備え、津波避難ビルや防災パートナーを拡充し、避難場所等を充実させる必要がある。	●防災パートナーの意見交換会や企業・NPO・学校・地域交流会の場を活用するなど、協力いただける企業等の拡大に努める。 ●令和6年度継続実施

クローズアップ ―取組の解説―

■NPO法人ペット防災サポート協会を新たに住之江区防災パートナーとして登録

【ペット防災についての動向】

- ✓ 2011年 東日本大震災：ペットや家畜の餓死、放浪による繁殖
- ✓ 2016年 熊本地震：アレルギーや騒音等の苦情やトラブルが多発

《防災パートナー協力内容》

- ・ペット防災に関するセミナーの開催
- ・ペット用品の提供
- ・協力団体等へのペット用品提供の呼びかけ



NPO法人ペット防災サポート協会HP

10月9日(月・祝) 住之江区防災セミナー ペット防災に関するセミナーも実施

【めざす成果及び戦略3－2】

経営課題3 安全・安心なまちづくり

犯罪のない安心して暮らせる環境の実現

めざす状態

【令和3～7年度の5年間】

地域や関係機関と連携し、一体となって街頭犯罪の抑止並びに特殊詐欺の被害防止に取り組むことによって、区民の日常生活での安全を確保できている状態

計
画

戦略(中期的な取組の方向性)

指標

- ひったくり、路上強盗などの街頭犯罪や還付金詐欺、オレオレ詐欺などの特殊詐欺等の犯罪に対する正しい防犯知識の普及と防犯意識の醸成により、犯罪を寄せ付けないまちづくりを進める。
- 警察などの関連部署や地域との連携のもと、みんなの目が行き届いた、犯罪を実行しにくい安全・安心なまちをめざす。

令和7年度末までに、区民アンケートで「安全・安心に暮らせるまちである」と回答する割合80%以上

【めざす成果及び戦略3-2-1】

防犯意識の向上に向けた啓発

経営課題3 安全・安心なまちづくり

	取組内容	指標
計画	●特殊詐欺に狙われやすい高齢者への対策として、金融機関を訪れた高齢者に特殊詐欺被害防止の呼びかけと、啓発内容を掲載したチラシ等を配付し、特殊詐欺被害を未然に防止するための取組を行う。 ●警察と連携しながら、特殊詐欺被害防止録音機の貸与を行う。 ●防犯意識の向上に向け、安まちメールの情報を元に、防犯出前講座等の機会を捉え、大阪府内で発生した特殊詐欺の手口や住之江区内で発生した犯罪事案の注意喚起を行う。合わせて特殊詐欺についてのクイズを行い、参加者の理解を深める取組を行う。	●区民アンケートで「区の実施は区民の防犯意識の向上に役立っていると思う」と回答する割合70%以上

方向性の確認	取組実績等 ―9月末時点―	
	●特殊詐欺被害防止キャンペーン 6回 ●防犯出前講座 25回 ●特殊詐欺被害防止録音機の貸与	
	進捗状況：予定通り	
	課題	方向性
	●防犯意識の向上に向けた啓発について、より効果的な方法を検討する必要がある。	●様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。 ●令和6年度継続実施

クローズアップ ―取組の解説―

■特殊詐欺被害防止のため、「自動通話録音機」を無償貸与

特殊詐欺の犯行手口として最初に用いられる手段は、自宅の固定電話に電話をかけることがほとんどとなっています。通話録音を活用することで、犯人からの電話接触を極力なくすることができることから「自動通話録音機」が特殊詐欺被害防止に有効です。

令和4～5年度貸出件数 住之江区162台 大阪市3,773台(令和5年9月20日現在)



【めざす成果及び戦略3-2-2】

街頭犯罪抑止のための環境整備

経営課題3 安全・安心なまちづくり

計 画	取組内容	指標
	●青色防犯パトロールカーなどにより、安まちメールで配信のあった情報をもとに、巡回強化ポイントを設定し、地域の巡回パトロールを実施する。 ●区役所や商店街などで、ひったくり防止カバー取付キャンペーンを実施する。 ●区役所管理の防犯カメラについて、巡回時の目視点検や業者委託点検により、適正箇所への配置確認を行う。	●区民アンケートで「区の取組は街頭犯罪抑止に効果があると思う」と回答する割合 70%以上
方向性の確認	取組実績等 ―9月末時点―	
	●犯罪発生箇所が反映された防犯マップを基にした即応効果的な巡回パトロールの実施 ●ひったくり防止カバー取付キャンペーン実施 6回 進捗状況：予定通り	
	課題	方向性
	●街頭犯罪抑止に向けた啓発について、より効果的な方法を検討する必要がある。	●様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。 ●令和6年度継続実施

クローズアップ ―取組の解説―

■防犯啓発

商店街等での、街頭犯罪（特殊詐欺やひったくり等）に関する注意喚起や、ひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施など、まちなかで効果的な啓発を実施しています。



■青色パトロールカー

安まちメールで配信のあった情報をもとに、巡回強化ポイントを設定し、パトロールを実施しています。



防犯マップの表示例